

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 川 島 敦
 (コード番号 4321 東証1部)
 問い合わせ先 取締役 吉 川 泰 司
 電 話 番 号 (03) 3519-2530

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 6 月 25 日に公表しました平成 22 年 12 月期(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	31,500	7,900	2,200	△2,400	△1,980 円 22 銭
今回発表予想(B)	38,580	7,330	2,200	△2,540	△1,563 円 02 銭
増減額(B-A)	7,080	△570	—	△140	
増減率(%)	22.5	△7.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期)	77,831	8,433	225	△18,438	△23,968 円 93 銭

2. 業績予想修正の理由

(通期)

不動産投資市場が正常化に向かう中、当社グループでは一昨年来、受託資産残高の成長、バランスシートのスリム化、安定的な収益構造の構築を柱とした中期経営計画を達成すべく諸施策を進めており、受託資産残高の成長スピードを上方修正する等、既に一定の成果を上げることが出来ており、更なる取り組みの強化を図っております。

今般の業績予想の修正は、バランスシートのスリム化を進めるにあたり、追加的にたな卸資産の売却を行い、固定資産についても翌期の売却が決定したものについて売却額に基づき減損損失を計上したためであり、また、匿名組合分配損益が前回計画を下回る計上となったためです。結果として、営業収益は前回計画を上回るものの、営業利益、当期純利益は前回計画を下回る見込みです。

以上より、通期の連結業績予想値について、営業収益、営業利益、当期純利益を修正することといたしました。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、当社の公表済みの各種資料の最新のものを参照ください。